

急性中耳炎

(空港前クリニック)

2011年4月～2013年3月

男児48例・女児14例、年齢0～6歳(62例)

細菌培養を行い、経過を追えた症例

急性中耳炎

定義

中耳腔、耳管、乳突蜂巣内で感染を起こした場合

原因

風邪による上咽頭などで発症、子供に多い

症状

発熱、鼓膜発赤、疼痛、耳漏、難聴など

治療

抗生剤、鎮痛剤、鼓膜切開術

急性中耳炎

2011.4~2013.3 (重複あり)

(空港前クリニック)

(例)

30

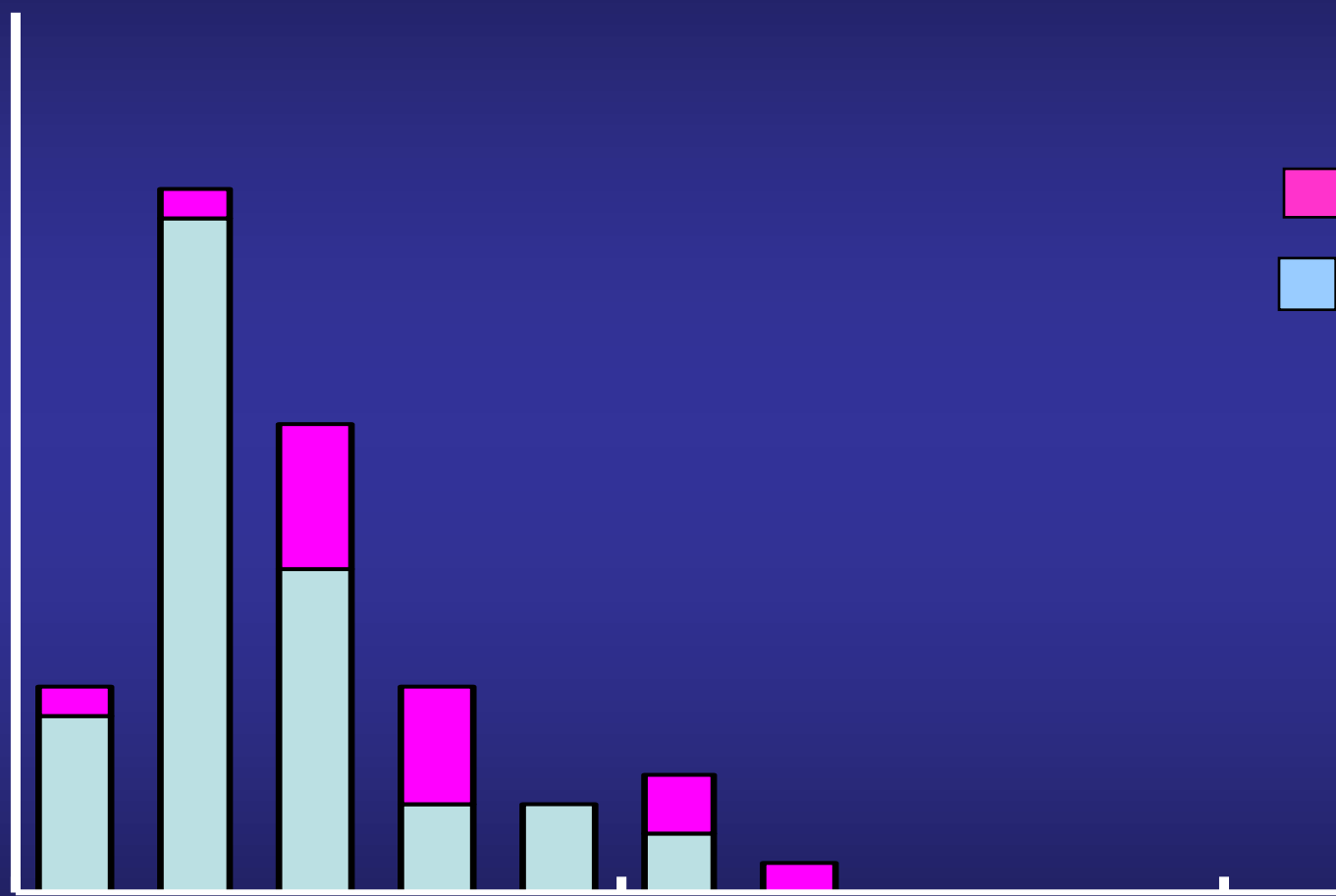
20

10

0

女性
男性

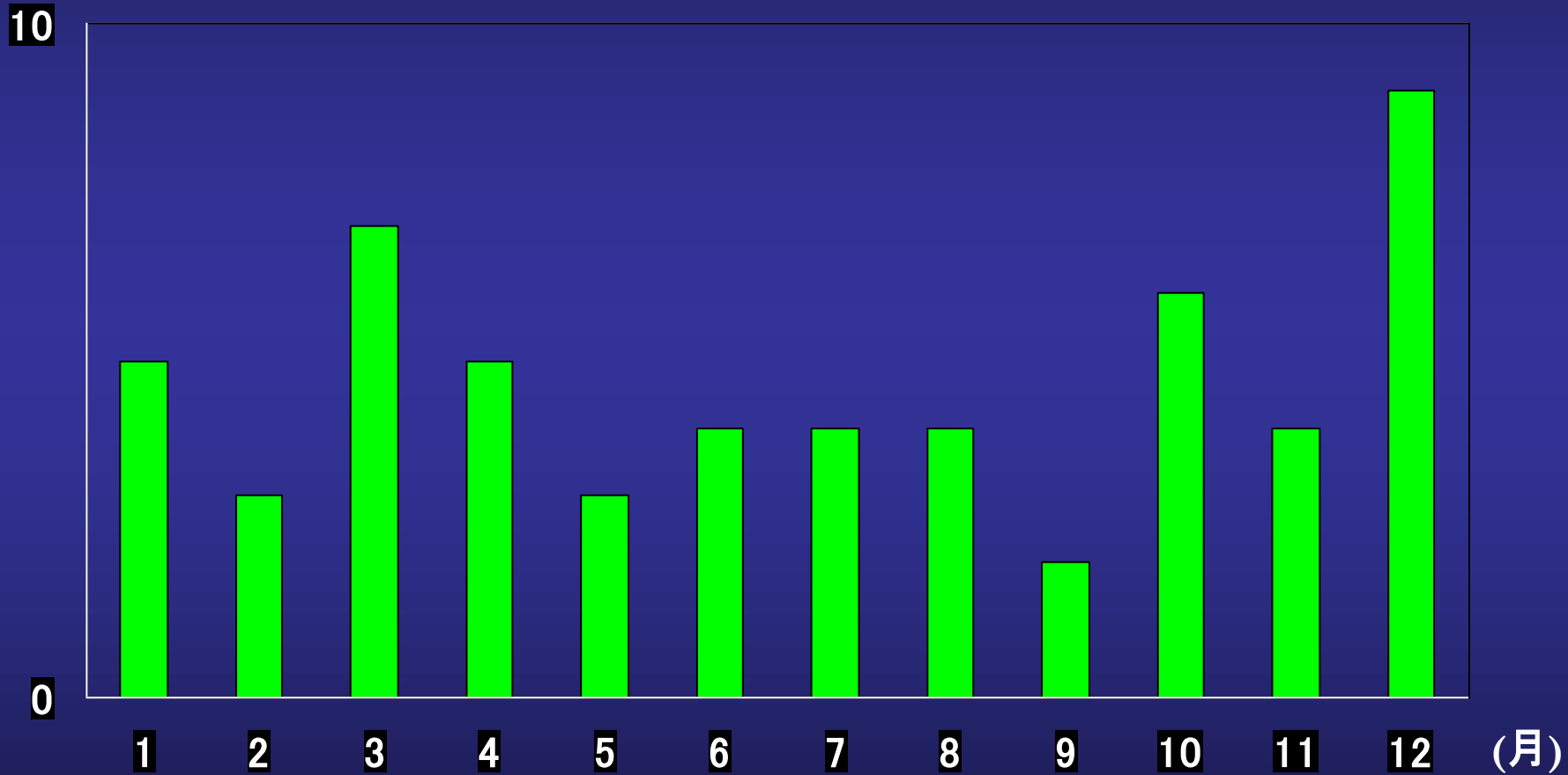
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (歳)



急性中耳炎 受診月

(空港前クリニック)

(例)

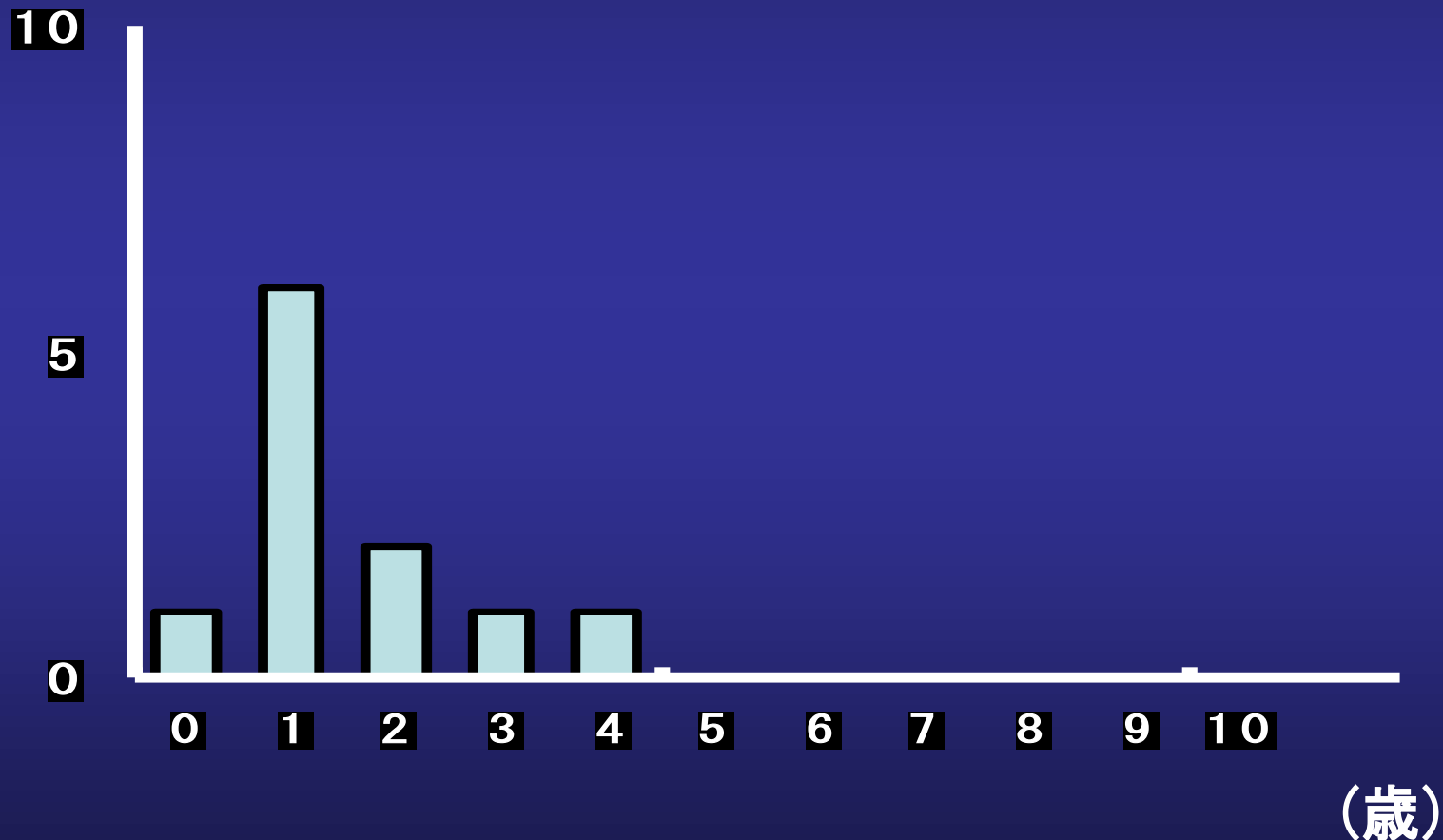


急性中耳炎（繰り返す年齢）

2011.4～2013.3

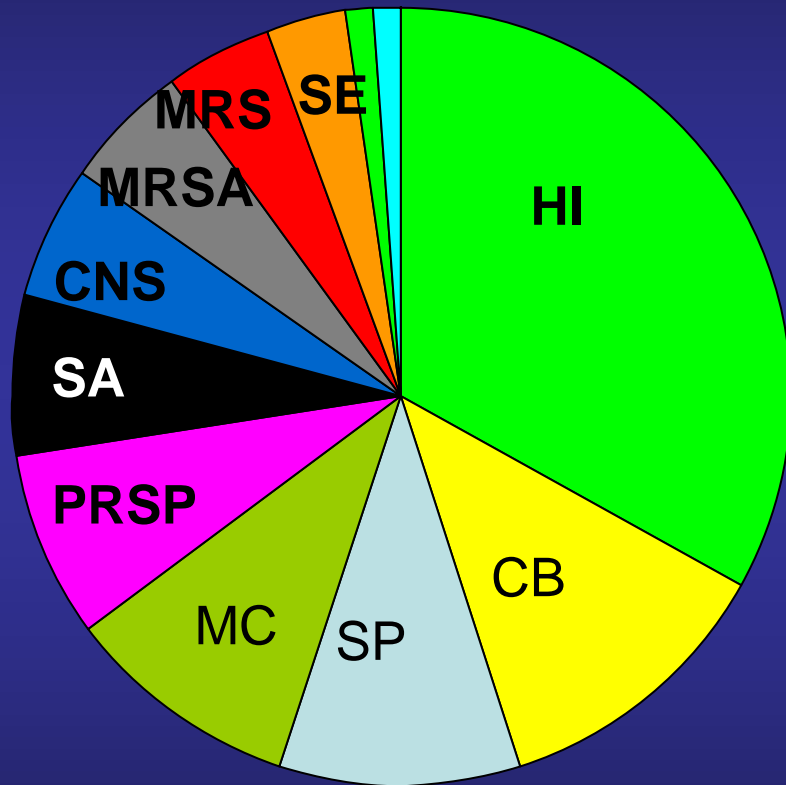
（空港前クリニック）

（例）



急性中耳炎（原因菌）

（空港前クリニック）

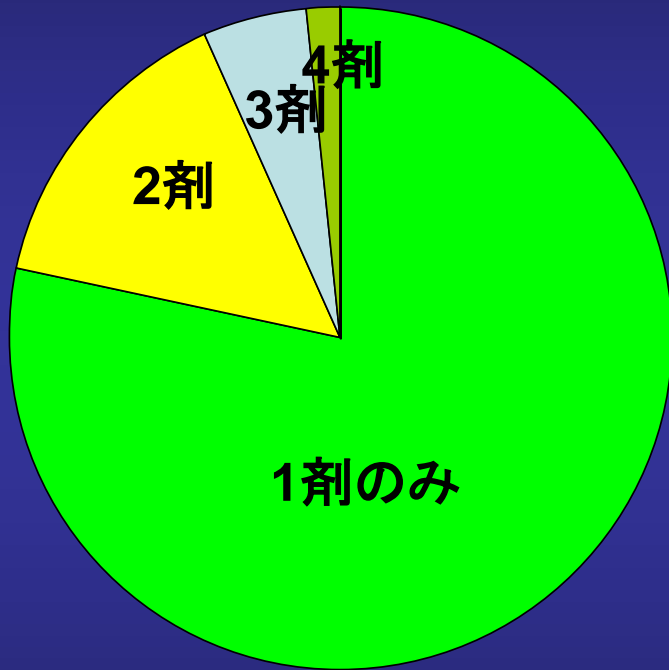


検出菌

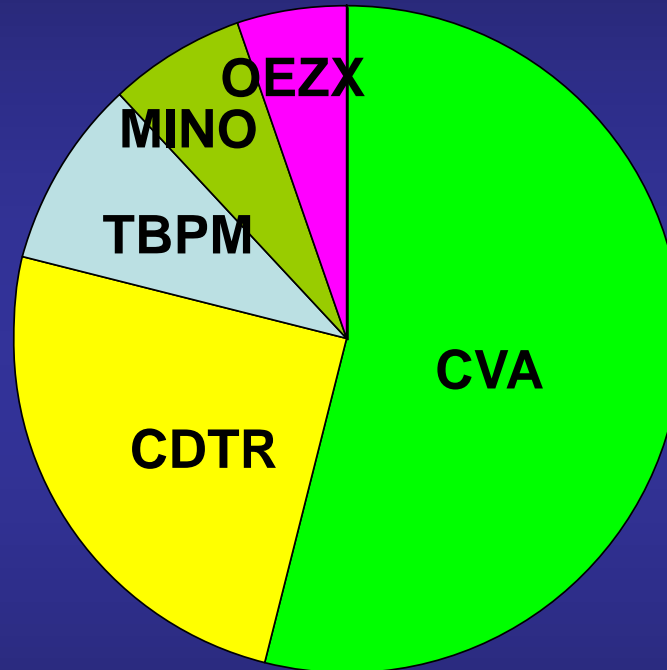
- HI インフルエンザ桿菌
- CB コリネバクテリウム
- SP 肺炎球菌
- MC モラキセラ・カタラリス
- PRSP 耐性肺炎球菌
- SA ブドウ球菌
- CNS コアグララーゼ陰性ブドウ球菌
- MRSA 耐性ブドウ球菌
- MRS 耐性球菌
- SE 表皮ブドウ球菌

急性中耳炎（薬剤）

（空港前クリニック）



薬使用数



治療薬

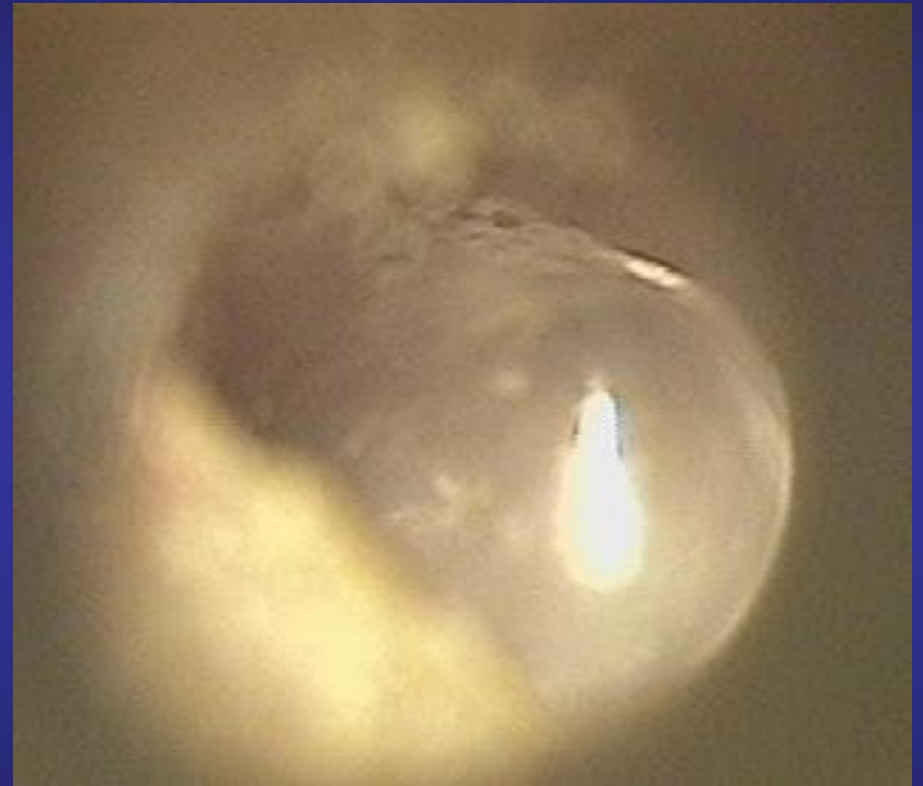
- CVA クラバモックス[®]
- CDTR メイアクト[®]
- TBPM オラペネム[®]
- OEZX オゼックス[®]
- MINO ミノマイシン[®]

急性中耳炎（軽度）

（空港前クリニック）



右耳



左耳

急性中耳炎（中から高度）

（空港前クリニック）



右耳



左耳

急性中耳炎（高度） 生後7カ月

（空港前クリニック）



右耳



左耳

まとめ

1. 急性中耳炎は3歳以下の乳児、幼児に多い。
2. 夏以外に多い傾向にある。
3. 低年齢ほど、治療に苦慮する場合がある。